



## 「やさしく かしこく たくましく」

### 自立した子どもたちの育成をめざして

羽合小学校では、「児童一人一人が、それぞれの生活の場において適切な行動がとれるような能力を育てる」ことを目標に、日々の生徒指導を進めています。一人で家で過ごすとき、何人かで遊ぶとき、学級で授業中勉強しているとき、学年や学校全体で大きな行事に向かっているとき、様々な生活の場がありますが、その場にあわせて自分の言動を考えて行動できる、そんな力を子どもたちにつけさせたいと日々、取り組んでいるのです。学校生活の中では、まだまだ自分のことで精一杯で、頑張り切れなかったり、誰かに嫌な思いをさせてしまったりする場面も見られます。反対に、なかよし班活動で下級生のためにしっかり企画を考えて準備したり、苦手な教科の授業に友だちの力を借りながらがんばったり、運動会や学習発表会でいい演技や発表めざして努力したり、そんな子どもたちの姿がたくさん見られ、少しずつ適切な行動がとれる力をつけてきていると感じています。

こうした力をつける取組を進める中、今週12月4日(水)、倉吉警察署生活安全課の玉垣さんをお迎えして、6年生を対象に講話をしていただきました。玉垣さんのお話は、「卒業まで4カ月を切った今だからこそ、善悪の判断がしっかりでき、自分をコントロールできる人になってほしい。そのためには、いろいろなことを他人事ではなく自分事として考えたり、自分がされて嫌なことは人にもしないことを実行したりしてほしい。」というお話でした。犯罪につながる行動のことや、誰がどのように困るのかを具体的に話してくださり、6年生たちは、今の自分をしっかり振り返ることができたと思います。



講話後、玉垣さんと校長室でお話をした際、「とてもしっかり話を聞いてもらえた。今日の話が、自分で善悪について考えて判断し、言動をコントロールできることにつながればうれしい。」とおっしゃっていました。こうした講話も含め、日々、子どもたちに、自分のことを振り返ることを促しながら、場面に応じた行動ができるよう関わっていきたいと思います。

### たくさんの地域の方に支えられ

今年度もたくさんの地域の皆様に、校外学習での協力、ボランティアによる児童の見守り、支援等でお世話になっています。読み聞かせや家庭科ボランティアなどは、子どもたちの支援を楽しみにして下さっていて、何度も来校いただいて、支援してくださっています。こうした地域の皆さんのお力も借りながら、しっかりと子どもたちの育成を進めています。

